



11/11 JA 計根別青年部 ロール看板設置



11/19 第28回 根室農業賞 受賞



11/14 JA 計根別給油所 オープン



10/27 平成16年度 手つなぎふれあい会 開催

JA 計根別 給油所オープン!

地域に愛され親しまれる
スタンドを目指して!



工事の完了が伝えられ、キーボックスを受け取る 纏織組合長

JA 計根別給油所が無事完成。修葺式やオープニングセレモニーも盛大に行われ、十一月十四日に給油所の新装オープンとなりました。以前の給油所は、昭和五十四年に事務所前から移転。営業開始から二十五年の歴史とともに施設の老朽化が進み、地下タンクのオイル漏れ防止や給油設備の更新を目的に新設されました。

給油所の工事は、八月の地鎮祭終了後からの着工となり、約二ヶ月間の工期を経て完成致しました。旧給油所も装いを新たに洗車場へと改修工事が行われ、十二月上旬の完成を目前に進められています。

工事中は、皆様に「ご不便とご迷惑をお掛け致しましたが、地域に愛され親しまれる給油所を目指して参りますので、今後とも皆様のご利用を宜しくお願い致します。



スタンドオープン記念すべき
第一号車は「組合長。」



開店を待ち、少し緊張ぎみのスタッフ



テープカットを見守る関係者一同



役員・関係者により修葺式が行われた



纏織組合長をはじめ参加者一同「礼。」



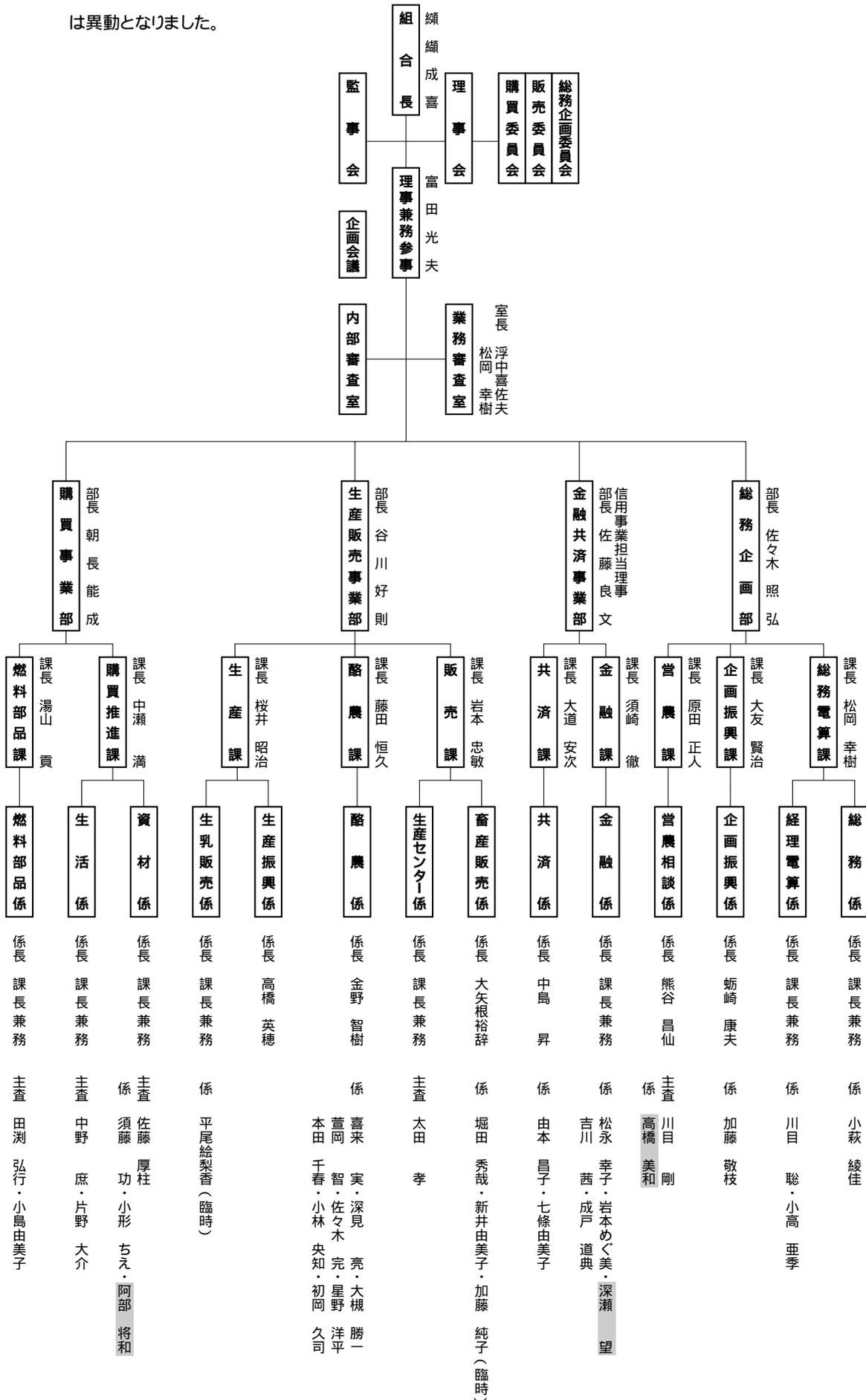
テープカットも無事終了!! いざ営業開始!!

人事異動がありました。

組織機構図及び職員配置図

平成十六年十一月二十二日現在

は異動となりました。





クオリティーファームの見事な牛群



ロールを運ぶ自動給餌機



“ナイアガラの滝”を体感する参加者たち



これは何というお城？渡辺安二さん教えてください

中山間事業計根別集落 海外視察研修を 終えて

養老牛 馬場 祐太

十一月九～十六日までの一週間、カナダの酪農家及びロイヤルウィントンフェアへの視察に計根別集落から自分を含めた六名、標茶農協から六名の総勢十二名が参加しました。

農場視察は、サニーマープルファーム、クウォリティーファーム、ジョンソンファームの三戸を視察。どの農場でも、全ての牛が毛刈りされ、乳房の大きさ、ハリ、形も優れた牛ばかりで驚きの連続でした。また、どの経営者も牛一頭一頭に愛情深く接しており、牛舎及び周辺の環境美化にも努められ、とても感心しました。

【各農場経営規模】

サニーマープルファーム

搾乳牛六〇頭

一頭平均二二、〇〇〇kg

クウォリティーファーム

搾乳牛七〇頭 乾乳一〇〇頭

ジョンソンファーム

総頭数四十八頭内EX二十五頭

一頭平均九、二〇〇kg

カナダの酪農事情は、肉牛生産農家でのBSE問題、糞尿処理問題が当面の課題とされています。乳価については、出荷された生乳のほとんどがチーズやバターに加工されるため、乳質に影響のあるサイレージは給餌せず、乳価



ホテルの窓から見える “ナイアガラの滝”



地上？m!! 写真を撮るのも勇気が必要



JA標茶と合同開催となった海外研修。参加者全員で記念撮影



とても満足そうな漆原さんと馬場くん

は脂肪と蛋白含有量での設定となっていました。
市内観光では、ナイアガラの滝、トロント、バンクーバーをそれぞれ見学。ナイアガラでは、轟音と水しぶきの凄さを体感し、水量が少ない時期にもかかわらず、その迫力には圧倒されました。また、バンクーバー市内では、とどころに日本語が目につき、私たち日本人にと

つては、とても過ごしやすい環境でした。さて、海外視察のメインとなったロイヤルウインターフェアですが、最初の驚きは会場となったトレードセンターでした。「セール・オブ・ザ・スターズ」という大きなセールで優れ

た牛をはじめとして、自分より大きい牛ばかりが揃うカナダの乳牛を実感しました。その後、ロイヤルウインターフェアを視察しましたが、会場はとて広く、さまざまな動物が並んでおり、まるで動物園にいる気分でした。なかでも、アンデス山脈で飼育される牛、バツファローのように大きい牛、毛がフサフサと生えた牛など見るもの全てが新鮮でした。さらに、共進会ではとてもいい牛が揃い、そのレベルの高さは歴然としていました。こんな凄い共進会を見たのは生まれて初めて!! 本当に感動しました。

この感動を胸に日本へ帰ってきましたが、移動時間の長さにとっても疲れしました。しかし、このたびの視察に参加して、これからの人生の良い経験となり、自らの酪農経営に役立てられたらと思います。

【海外視察参加者】

- 渡辺 安二(計根別)
- 漆原 俊之(計根別)
- 長谷川正幸(西 竹)
- 馬場 祐太(養老牛)
- 井野 輝子(養老牛)
- 橋本 キク(養老牛)



ローヤルウインターフェアでの各会場!! 日本では体験することのできない“凄さ”!! 会場も広いがスケールの大きさに感動しました



平成16年度 第28回 根室農業賞 受賞者!!

農業、農協の発展に
尽力された功績が
認められ

根室農業賞 受賞

根室管内農協組合長会で構成する根室管内農業賞委員会では、農業協同組合運動の功績や農業経営の実践活動に顕著な成績をあげた四名を対象として、第二十八回となる根室農業賞表彰式を農協法公布記念日となる十一月十九日に管内農協をはじめとする各関係機関を集い盛大に開いた。表彰式では、当委員会の丹羽委員長の挨拶により開会され、来賓からは西澤町長（中標津町）より「根室酪農発展のために受賞者皆様方の豊富な知識と経験を活かして次世代（地域後継者）へ伝えて頂きたい」と話され、四名の受賞者に受賞の喜びと今後の活躍も期待される祝辞がありました。

今年、計根別農業協同組合から栄えある根室農業賞を受賞されたのは本田和雄さん（養老牛）、本田さんの略歴は、昭和四十七、五十七年にかけて中標津町青年団体活動を積極的に行い、乳牛改良にも熱心に取り組み、管内の先駆けとなる受精卵移植の普及啓蒙に努めた時期でした。昭和六十一年には農協役員に就任。以後十二年間という長きにわたりその職務を遂行、農協事業の発展に尽力されました。その他にも中標津農業高校PTA会長、計根別乳牛検定組合長、中標津町農業委員を務めるなど地域農業の発展、酪農経営の改善、農地流動化などに情熱を注がれました。



ステージ前で記念の一枚



丹羽委員長より盾が授与

また、自らの酪農経営においても経営の規模拡大により安定した経営基盤を築きあげ、生産性も高く、高品質な生乳生産を実践し、地域の模範となる経営内容が認められ、これまでの功績も高く評価されての受賞となり、今後更なるご活躍が期待されます。

最後に、受賞者を代表して中春別農業協同組合の奥山氏



組合長をはじめとして地域を代表する皆様と楽しい時間を過ごしました



根室農業賞を祝して「パンザーイ」



皆様に祝福されて会場を後にする本田夫妻



記念の「盾と花束」



組合長、参事と記念撮影

から「農業賞を受賞し、今まで以上に農業、農協事業に尽力して参ります」とのお礼のことばで閉会致しました。

手つなぎの会

十月二十七日、本年度第五回を迎えた、「手つなぎふれあい会」。計根別地域に住む七十五歳以上のおいしいちゃんおばあちゃん約五十名が集い、会員手づくりの食事やゲームを楽しみました。

ふれあい会は、「手つなぎの会」会員を中心とする十三名により進められ、前日から料理の仕込みや会場設営と大忙し。また、料理では参加者の好みや食べられるものなどへの気配りが伺え、紅葉や野菜で色鮮やかに飾られたテーブルに心温まる料理がいくつも並べられ、美味しい料理と楽しい会話で参加者は大満足。

食後は、毎年恒例となる余興が行われ、ビンゴゲームと魚釣りゲームで頭と体を動かし、本日のメインとなる参加者からの余興となった。今年のステージを任されたのは蛭田忠吉さん(本別)得意の数え歌と華麗な踊りが披露され、会場内を大いに盛り上げていました。

最後は、参加者を代表して曾根一男さん(大成)から「お礼のことば」を頂き、「とても楽しかった。また来年も楽しみにしています」との言葉に手つなぎの会会員もとても喜んでいました。



開会を待ちわびる参加者



開会を待ちわびる参加者



色彩も鮮やかに飾られたテーブルに本日の御馳走



前日から準備開始!!当日も大忙し!!



ビンゴゲームも大好評!!何が当たったのかな?



今年のステージは蛭田忠吉さん(本別)歌と踊りが見事でした



美味しい食事で会員との会話も弾みました



閉会では相澤みね会長がご挨拶



参加者を代表して挨拶は曾根一男さん(大成)



意外と難しい「魚釣りゲーム」

気持ちもリフレッシュされ、
とても楽しい研修会でした

フレッシュミズ会長 信 夫 扶美子



森野志保さんの講義を聞く参加者

十月二十五、二十六日の二日間にてJA根室地区フレッシュミズ研修会が阿寒湖温泉ホテルエメラルドで開催され、計根別から私と加藤さん（事務局）の二名が参加しました。
研修初日は、森野志保さんの講演で「キラリ輝く女性を目指して」を聞き、タオルとボールを使って簡単なストレッチ体操「リフレッシュー体操」を教えてもらいました。体の硬い私にとっ



体がとても硬そう。痛くないですか？

ては、ちょっと辛い体操でしたが、心地よい汗をかくことができました。懇親会では、臨時の託児所が設けられ、子供連れでもゆつくり、のんびりとした夕食で会話も弾んだ楽しい時間を過ごしました。

二日目は、「家の光、読み聞かせのすすめ」「お茶の効能と美味しい入れ方」を学び、研修会を終えました。

研修会に参加した皆様とお話しをしてみると、「毎年、この研修会を楽しみにしている」ということを聞きました。研修会もそうですが自由時間も有意義に過ごし、バスの中では、「とても楽しかった。また来年も…」という声があちこちで聞かれました。私も一人で泊まることは初めてだったので、気持ちもリフレッシュして帰ってきました。研修会に参加することができて本当に満足しています。



お茶を飲むのも真剣です

家庭や地域の重要性を学び、
食文化と豊かな人間性を育もう

JA計根別女性部副部長 味 元 玲 子



片山寿美子さんによる講演会!! 農村女性の現状を再確認!!

十月二十八日、中標津町寿宴にて、平成十六年度根室地区女性部研修会が開かれました。本会のテーマは「JA女性部かわろう、かえよう宣言」。北海道農業担い手育成センターの就農コーディネーター片山寿美子さんを招いての講演会となりました。
講演は、農村女性の現状についてであり、講師から「誰もが伸びやかにイキイキと暮らせる家庭や地域が必要。食の文化を大切に、豊かな人間性を育む

努力が必要。そのもつとも尊い技術を持つているのは、農村のお母さんたちである」と話された。

午後からの研修は、持ち寄り読書。JAの家庭雑誌である「家の光」を使って読書の楽しみ方を学び、とても充実した内容にて研修会を終えました。



真剣な眼差しでステージを見つめる水沼部長



読書の楽しみ方を学ぶ参加者。ときより笑顔もこぼれました

心の豊かさと健康管理の大切さを

J A 全道女性大会、家の光大会

J A 全道女性大会、北海道家の光大会が十一月十一～十二日の二日間にわたり、札幌市ホテル・ド・レーゼンサッポロを会場に開催されました。

大会は、「心豊かに、かわろっ、かえよう」をテーマに、自らが変わることで、自分の周りも変えていくことで、ますます輝く女性となり魅力ある女性部活動を目指そうというものでした。

大会初日は、組織活動体験発表、農業経営実践事例発表、家の光記事活用体験発表、各種表彰。そして記念講演では二村ヤリ子さんを講師として「健康な自分を創るために、やさしい働きを身につけよう」と題して、血液の大切さ、血液の流れを良くすることで健康になれるとの内容でした。また、自らがレインボー体操を考案、指導し、多くの人の健康を願って活動を展開しているそうです。

実際に当日も体操を教えて頂き、無理をせず、毎日適度な運動を続けることが、



記念講演での二村ヤリ子さん「健康とは...」

若さと健康を保ち、自分の体は自らの手入力で長持ちさせることの大切さを知りました。

全体懇親会では、地震により会場の大きなシャンデリアが揺れるハプニングもありましたが、各担当地区による歌や踊りが披露され、とても楽しい会食となりました。

二日目は、家の光専門講師の佐々木哲夫氏による講演「心ゆたかに」と題して、今は物が豊かになっっているが、心は貧しくなっている。二十一世紀の幸せの条件は「健康・家庭円満・お金」、さらに「いつも明るく、楽しく、元気よく」このようなことを熱く語ってくれました。

最後に、本大会を終えて全道女性部員皆様との交流から大きなパワーを頂き、今後の女性部活動に活かしていきたいと思えます。



健康保持のために体操を学ぶ参加者



懇親会でピースをするのは西丸副部長

J A 計根別女性部 支部紹介

養老牛支部 「趣味の会」

十一月四日、養老牛福祉会館にて地元女性部員が集まるとの連絡をつけ、さっそく取材に行きました。

養老牛支部は、この集まりを「趣味の会」と称して毎週木曜日に福祉会館へ集まります。本会での主な活動は、女性部や地元行事の打合せ、準備。その他にも手芸やフレッシユによる木製手づくりパズルづくりも盛んに行っています。さらに、おしゃべりによるストレス解消も大きな役割を果たしているとか。でも福祉会館は、保育所として使われているために大きな声を出せないのが悩みようです。

当日は、十二月に控えた「レディースフェスタ」の打合せで演芸や出品される料理について頭を悩ませており、本番では何をして頂けるのか？とても楽しみです。

趣味の会も「楽しく出来ればOK!」と話す会長の中村正子さん。

これからも会員の憩いの場として、より楽しい「趣味の会」を期待しております。



当日集合した「趣味の会」メンバー



フレッシュさんは手作りパズルに熱中!!



役員会の進行は中村会長と下川原さん



「今年のレディースフェスタはどうしよう?..」

青年の主張惜しくも代表逃す

根室地区JA青年部大会



青年の主張は中村正博くん(養老牛)「使命の舞台に...」



根室地区を代表してカラオケを熱唱する金川くん

されたカラオケ大会。JA青年部の歌を誰が上手に歌うか?というものです。この企画にJA上春別青年部の金川くんが立候補。個性あるコスチュームで本人が壇上に現れ会場からは大きな歓声が沸き、全道大会出場に向けて自慢の歌声が披露され無事大会を終えました。

十一月十七日、地区青協では大会テーマを「CHALLENGE」と定め、管内JA青年部員九十名を集い、今年も中標津寿宴にて盛大に開いた。青年部大会は、根釧農業試験場の原仁氏を講師として、最近の酪農情勢と青年農業後継者に期待すること」と題した講演を行った。その後、参加した部員は分散会へと会場を移し、それぞれの考えを述べてのディスカッションとなった。分散会での主な意見は、施設・機械の老朽化による新規投資、生産性向上に伴う労働力不足。将来的な酪農経営に対する不安。が挙げられた。これに対して分散会では、自分の能力にあった経営と自分を見つめる力、規模拡大に伴う技術の選択が重要との見解でした。



分散会では部員それぞれが意見交換



根釧農試 原氏による酪農情勢の説明

さらに、今年の地区大会では当青年部から養老牛支部の中村正博くんが青年の主張を発表。「使命の舞台に...」というタイトルで、地元を愛する青年部員が少子高齢化、過疎化が進むなか青年活動を通じて自らの安定した酪農経営と地域の活性化を図りたいという内容だった。結果は、僅差で敗れたものの制限時間オーバーでの減点が勝敗を左右し、とても悔しい思いを残すこととなった。地区大会の締めは、今年から企画

「四変の発症と手術内容を知る」 共済懇親会

青年部では、共済事業の現状、獣医師との親睦を深めることを目的として、年度当初より計画していた懇談会を十一月二十六日、養老牛温泉ホテル養老牛荘で開いた。当日は、青年部員三十一名、獣医師四名の参加により懇談会が進められた。懇談会の始めは、内田獣医師による勉強会。手術頭数の推移、第四胃変位の発症率及びパソコンを用いてコンピューターグラフィックによる四変の発症を映像化、さらにはビデオに収めた実際の手術現場を放映するなどの講義が行われた。

その後、懇親会へと移り、部員と獣医師が個々に日頃の悩みや相談事、世間はなしで会話が弾みました。獣医師から「昨年からは望んでいた懇談会が実現できた。また、このような機会を持ちたい」と話され、青年部員からも「四変の発症がよく理解できた。手術を見たのは初めてだった」などの声もあり、とても有意義な一日となりました。



当日の講師は内藤獣医。お疲れさまでした



四変の発症率を学ぶ青年部員



懇親会も盛り上がり、獣医師若干1名が脱落

牛乳製品の消費拡大を願って



今年も作りました“ロール看板”!! 牛乳消費拡大を呼びかけて...



参加した部員総がかりでの草刈り



当日作業機械を用意してくれた計根別支部の皆様ありがとうございました

今年も青年部からのメッセージとして、牛乳製品の消費拡大を呼び掛けたロール看板を十一月十一日に計根別市街から中標津方面へ1kmほど進んだところに設置した。

当日の天候はくもり、今にも雨が降りそうな寒空のなか青年部員二十名が集い、トラクター、ラップマシーン、ブラシカッターを持ち寄り一斉に作業を開始した。今年のメッセージは“ごはんと一緒に：牛乳、チーズ、ヨーグルト”。皆様もご存知の“3 A D a y”運動を意識したものです。今年のロール看板の出来栄はまずまず。例年より文字をカラフルにして綺麗に完成できたと実感しております。

皆様もこのロール看板を見て

“一日三回

牛乳を飲みましょう”

牛乳のあとはチーズとヨーグルトも忘れずに...

好プレー、珍プレーが続出!



熱血プレーで親睦を深めたソフトボール大会

親睦ソフトボール大会

十一月一日、早朝から小雨が降り続くなか、このままでは大会中止も危ぶまれるほどの天候となりましたが、日頃から大会主催者側の行いが良かったのか？小雨も止み、グラウンド状態も良好のもと予定どおり大会が進められました。

当日は、悪天候も予想されたことから部員の集まりも悪く、各支部・実習生での合同チームによる戦いとなりました。試合開始直後は、和気あいあいとした雰囲気ゲームが進行。しかし、中盤以降は、体をはった「熱血プレーが炸裂」し、大乱打戦の末十二対十二で引き分けとなりました。

また、ソフトボールを通じて支部、部員、実習生とそれぞれの親睦が深まる有意義な一日となりました。



とても楽しそうな二瓶副部長



“絶好球”でも結果は？



とても大きなカジカは小林くん



魚釣りなのに「カニ」を釣って喜ぶ大沢くん



この日の「大きかったで賞」受賞者は長谷川くん



横一線に並んだ釣竿も約50本



復活 青年部親睦 魚釣り大会

十一月十日、三年ぶりの復活となった青年部親睦魚釣り大会。釣り好きの人からその日が始めての人まで二十名が尾岱沼に集まりました。

当日は、我が一番と言わんばかりに大物を狙い、マンガ「釣りキチ三平」を思わせるほどでした。今回の魚釣り大会は、「コマイ」限定でいかに大きく、たくさん釣るかを競うものでした。しかし、本命の「コマイ」もなかなか釣れずアブラコ、カジカ、カレイ、カニなどと、ほとんどが「五目釣り」となっていました。大会結果は、次のとおりとなりましたが、参加した部員は思い思いに魚釣りを楽しみました。

【大会結果】

大きかったで賞	長谷川孝二くん
沢山釣ったで賞	本田 勉くん
小さかったで賞	岡部 勝次くん
釣れなかった賞	鹿野 亮平くん
飯島	裕治くん

より精度の高い 生乳生産計画を

農協営農課、パソコン部会



いよいよ始まりました営農計画書!!この日は部員も真剣です

いよいよ営農計画書作成の時期となりました。そこで、農協営農課とパソコン部会では、十七年度の生乳生産を把握すべく十一月二十九日から三日間の日程によりパソコン講習会を開いた。

初日の講習会では、青年部員十名、組合員二名が参加。講習会期間中に約五十名の参加者を予定しています。生乳生産計画は、繁殖成績・廃用予定牛・初産分娩牛を把握し、個体乳量の積み上げをパソコンに入力することで、より精度の高い生乳生産計画を樹立しようとするものです。

参加した部員からは、「毎月の分娩頭数、乳量の変動がハッキリと判る」、「収支計画にも充分役立つ」などと話され、参加者から好評を得ております。営農計画書のパソコン入力とあわせて、今後も継続させたい事業となりました。

シリーズ第9弾 逸品館

“ジャンボハンバーグ”

今月の逸品館は、皆様にもおなじみの「ジャンボハンバーグ」を紹介致します。

ジャンボハンバーグを焼く鉄板も製作されてから十年以上もの歴史を数えるまでになりました。当時の青年部長熊坂修一さんが発案、製作を行ったと聞いております。購入した資材も厚鉄板のみ、フレームも廃材利用により低コストで作り上げられました。ジャンボハンバーグも平成四年度に上標津で開催された雪上カーニバルで初登場。今では、スプリング・オートムフェア、伯爵まつり、別海産業祭など各地

のイベントでも大人気となりました。しかし、この機械も傷んだ箇所が年々増え、一部改造も含めて年度末には修理を考えています。来年は、ピカピカになった機械で皆様にはハンバーグを提供できることと思いますのでご期待ください。



製作 平成4年11月?
 価格 10,000円以下? (厚鉄板のみ)
 重量 推定 約250kg (鉄板だけでも200kg)
 思い出 当時、ハンバーグを焼くのに釧路和商市場まで遠征。イベント開催時期も農繁期の7月上旬と一番忙しい時期であり、とても苦労されたようです。

THE FRIEND CONNECTION

小林 謙二(大成支部)
 S42.7.18 37才

- Q1. あなたの趣味は?
- A1. 読書! 小説が大好きで部屋の一室は書斎になっているようです。
- Q2. 就農したキッカケは?
- A2. 4年間普及員をしていたが、酪農に魅かれる何かがあった!
- Q3. 今、欲しいものはありますか?
- A3. 時間!
- Q4. 今、興味のあることは?
- A4. 12月に開催される全道青年部大会!
- Q5. 好きな女性のタイプは? 有名人に例えると
- A5. 田中美佐子(みんな知ってるかな?)
- Q6. 将来の目標は?
- A6. 楽しい家庭があれば...
- Q7. 友達を紹介してください。
- A7. 計根別支部の小林雄一くんです。
- Q8. なぜ小林くんを選んだのですか?
- A8. 数少ない昭和42年生まれ。身内じゃないけど小林つながり





東西竹

須崎 智裕くん(20)
侑子さん(20)

11月23日挙式

趣味のスロットと共進会に夢中な智裕くん。明るい性格と頑張り屋さんの侑子さん。侑子さんは、中標津町の出身で卸売市場の事務経理を担当していました。この若い二人がみんなに祝福され11月に結婚。“落ち着いたのある家庭づくり”が当面の目標と話す二人。さらに「地域の若者を代表するリーダーとして頑張ります」と話す智裕くん。今後の活躍を楽しみにしています。



計根別

本田 正志くん(32)
三千代さん(37)

10月22日挙式

青年部活動や地域の乳牛改良に情熱を燃やす正志くん。一方、三千代さんは兵庫県神戸市の出身。チャレンジ精神旺盛で明るい性格、少しそっかしい面もあるとか...

こんな二人が10月にめでたく結婚。「みんなに愛され、親しまれる家庭を築きたい」と話す正志くん、三千代さん。たまには“刺激”を求めた生活も期待しているそうです。





職員

佐々木 完くん(26)

理恵さん(25)

11月27日挙式

真面目?でセンスの良さ?が自慢である授精師の完くん。とても優しく、行動力のある理恵さん。理恵さんは、東京都の出身で酪農学園大学卒業。その後、カナダでホームステイ。帰国後は、慶応大学の実験助手を勤めていました。二人の出会いは、「酪農学園大学」。6年間の交際期間を経て、めでたく結婚となりました。「笑いの絶えない家庭を築きたい」と話す二人。これからも二人仲良く、農協、地域のために頑張ってください。

個性的な経営スタイルを 学んだ管内視察

白黒通信

計根別乳牛改良連合会

十一月二十四日、毎年恒例となる管内視察をJA中標津の桜井幸一牧場、佐々木昭雄牧場に会員十二名とやや少ない参加者のもと行った。

桜井牧場では、フリーストール牛舎で二五〇頭を飼育。平均乳量は八、五〇〇kgと抑え、長命産産を目指した酪農経営だった。体型面では、体長・体高ともバランスの良い牛群であり、とくに蹄床の厚さには驚かされました。さらに、当牧場の牛舎は、既存堆肥舎とD型を改造して建設。低コストながら本人の工夫が凝らされた施設でした。(既存堆肥舎の活用にあたっては、事業補助金の全額を返還したそうです)

佐々木牧場では、タイストール牛舎で経産五十四頭、未経産一五〇頭を飼育。未経産のうち一〇〇〜一二〇頭は府県からの預託牛であり、計根別管内では見られない経営スタイルだった。



熱心に説明を聞く参加者



既存堆肥舎、D型を改造したフリーストール



通路からの糞尿とエサを仕切る工夫が...

えふ・すういーる

酪農の基本と最先端技術を学び、 新たな仲間と知り合った研修会



愛さんと一緒に...



通路には豊富な麦カンが...



フリーストールからの糞尿も
見事に積み上げ

えふ・すういーるでは、十一月五、六日にかけて、メンバー四名の参加により江別市方面での管外視察研修会を行った。

今年の研修会は、江別市で酪農を営む河野牧場を視察。当牧場では「自然循環型酪農」に拘り、良質な堆肥、土、草づくりに取り組む酪農経営を学び、酪農後継者として働く三女の愛さん（女性）との交流を目的として実施しました。愛さんから「えふ・すういーるの噂は聞いており、とても興味を持っていました」と話され、メンバーと熱心に会話が交わされました。

その後、酪農学園大学を視察。高橋副理事長（前組合長）の配慮により学園内、インテリジェント牛舎、附属動物病院を見学させて

頂きました。とくに、動物病院では、最新技術と施設が完備され、国内でも最大規模の施設。家畜処理システムでは高温（八〇〇〜一、二〇〇度）焼却炉が設置され、炭化・無害化された家畜を土壌改良材として再資源化するなど最先端技術を駆使した取り組みにメンバーも驚きの連続でした。

最後に、このたびの視察研修会では、堆肥と土づくりが良質な草をつくり、健康な牛が美味しい牛乳を生産するという酪農の基本を再確認。さらに、酪農の最先端技術を知り、今後の酪農経営を考えるうえで、とてもいい勉強となりました。そして、最大の収穫は女性後継者である河野牧場の愛さんとの出会いでした。これからも愛さんと連絡をとり、長く交流を続けていきたいと思えます。



高橋副理事長に歓迎され、
会話も弾みました。

酪農学園中央館（10F）から 見た風景



インテリジェント牛舎



シラカバ並木



校舎

ロープの使い方を知り、大満足



なかなか思うように出来ないメンバー!!

今年で二回目となる「モクシづくり」を十一月二十五日、有原男さん（西竹）宅で行った。モクシづくりは、前回同様には、有原男さんを講師として、搾乳を終えた夜八時から約三時間にわたり進められた。有原さんからは「モクシは簡単。慣れれば十五分で出来る」と話され、メンバーも真剣に取り組みましたが、なかなか思うようにいかず悪戦苦闘。しかし、何とか作り上げたモクシは、愛着が沸くのか大切に使われるようです。

さらに、モクシのみならずロープワークということもあり、ロープの結び方や編み方も指導された。日常作業でよく使うロープ「こんな利用方法もあるんだー？」とメンバーもいい勉強になったと思います。



熱心に指導する有原理事



初乳について

産まれたばかりの子牛は病原体に対する抵抗力が弱いいため様々な病気になる可能性が高くなります。

初乳を正しく給与することで免疫グロブリンが子牛に確実に伝達され、下痢等の病気の発生を少なくすることができます。

初乳の比重を測る

初乳の免疫グロブリン濃度は比重計を使って簡単に知ることができます。(初乳の比重を測る時には初乳の温度が20℃の条件でおこないます。)一般的に初乳のグロブリン濃度は初産牛よりも経産牛の方が高くなります。

十分な免疫グロブリンが初乳に含まれている比重の目安は1.05以上です。また、初乳の比重が低い牛は乾乳期の栄養管理に問題がある場合も考えられます。

図1にA牧場の初乳の比重の計測値を示しました。

A牧場では比重が1.05に満たない初乳が約40%であり、十分な免疫グロブリンが含まれている初乳は思ったより少ないことが分かります。この場合は市販の「初乳パウダー」等を利用するか、あらかじめ比重の高い初乳を凍結保存しておくことが必要になります。

初乳の給与

初乳の給与は原則として分娩後、できるだけ早い時期におこないます。子牛の腸管からの初乳の免疫抗体の吸収率は時間の経過とともに低下するからです。しかし、出生直後の子牛の第四胃内には二から三リットルの羊水が含まれており、この羊水が残っている間に初乳を給与しても十分な免疫抗体を吸収させることができませぬ。初乳給与の適期は子牛が哺乳意欲を示した時です。正常分娩で生まれた子牛なら出生後三〇分から二時間くらいで哺乳行動をおこします。この時期を逃さずに初乳の給与を行いましょう。

初乳の給与量

子牛が十分な抗体を持つためには少なくとも100gの免疫グロブリン(できれば200g)を初乳から得る必要があります。そのためには比重が1.05以上の初乳を二リットル給与することが必要です。分娩後二時間以内に二リットル、十二時間以内に更に二

リットルの初乳を給与します。初乳の比重を測ることで子牛の下痢を予防したり、乾乳期の栄養状態を知ることによって、その後の対処が速やかにできたりと多くのメリットがあります。初乳の比重計測を習慣づけましょう。

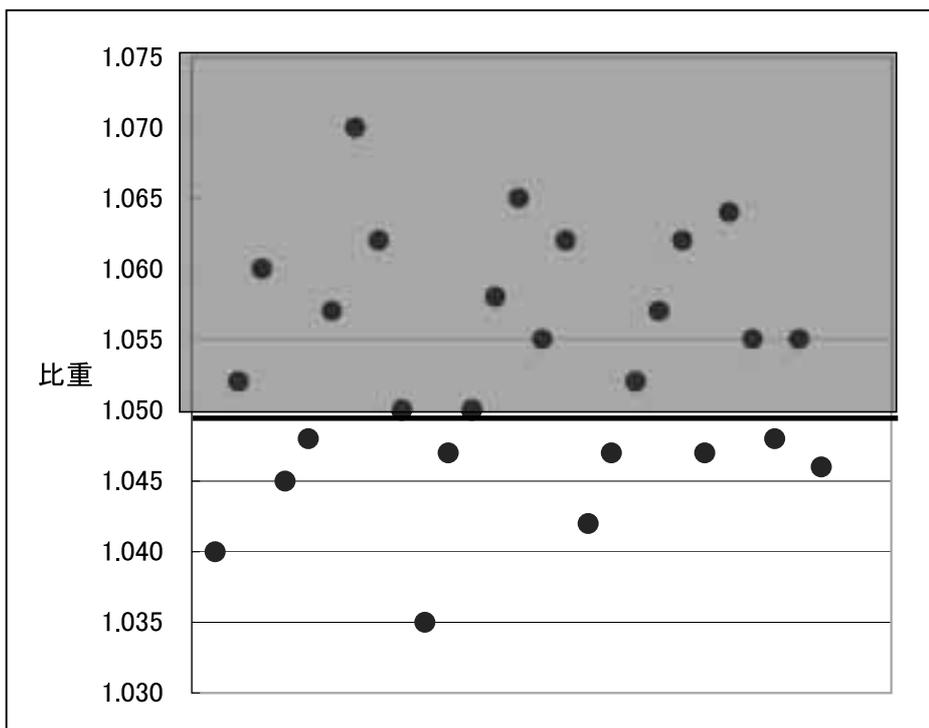


図1 A牧場の初乳の比重の計測値

「繁殖管理のコツ」繁殖成績の良い農家に聞きました

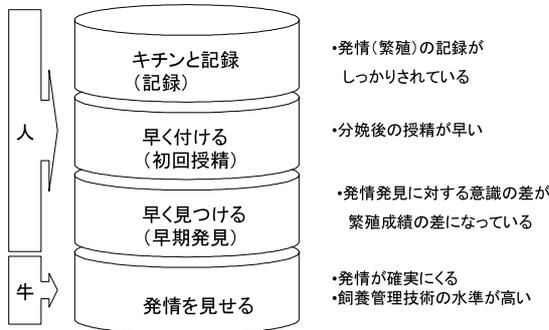


図1 繁殖のコツ 優良農家の共通点

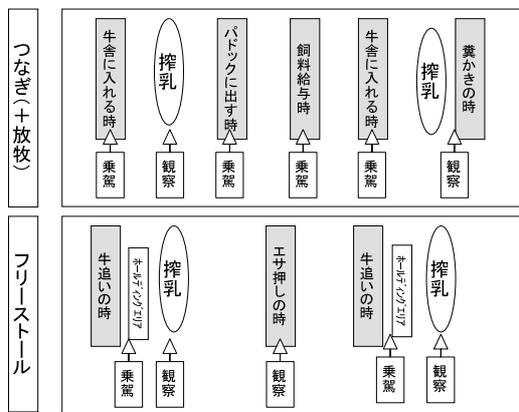


図2 発情発見（観察）の実施事例

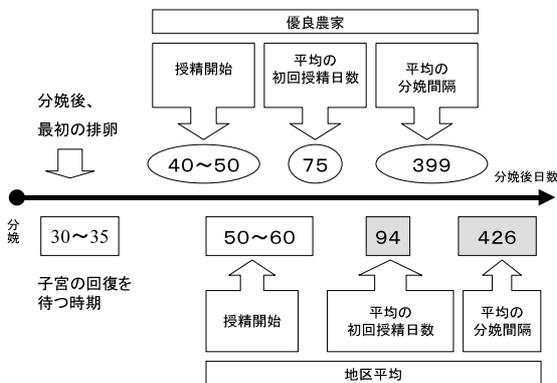


図3 初回受精の開始と平均初回受精日数

「記録」の種類(内容)	システムの備えるべき条件	記録システムの事例
過去の記録 ・分娩月日 ・発情 ・授精	見やすい わかりやすい	フリーディングカレンダー 繁殖管理盤
現在の記録 ・発情状況 ・授精	続けられる 記入が簡単	黒板(ホワイトボード) パソコン
将来の記録 ・発情予定 ・授精予定 ・乾乳予定 ・分娩予定	すべての牛がわかる 要注意牛の抽出が簡単	ノート(手帳)・自作の台帳 頭の中

図4 繁殖管理の記録システム

発情を見し受胎させるためには、「牛の発情がキチンと来る」ことが必要です。成績の良い農家では、飼養管理技術の水準が高く、分娩前後の管理をしっかりとしていることから卵巣、子宮の回復も順調に進み牛が明確な「発情兆候」を示しています。

一、牛の発情（発情を見せる）
発情を見し受胎させるためには、「牛の発情がキチンと来る」ことが必要です。成績の良い農家では、飼養管理技術の水準が高く、分娩前後の管理をしっかりとしていることから卵巣、子宮の回復も順調に進み牛が明確な「発情兆候」を示しています。

繁殖成績の良い農家のお話しを集めてみました。お話しを聞く内に「繁殖へのこだわりと工夫（コツ）」が見えてきました。（図一）

二、早期発見（早く見つける）

乳牛の発情には、授精をするための発情、「授精後受胎していないことを示す再発情」の二つがあります。この二つの発情を発見するために成績の良い農家では、「発情兆候をいつ見るか、何を見るか」が決められていました。（図二）また、繁殖管理の全体について把握している責任者がいることも共通しています。

三、初回授精日数（早く付ける）

成績の良い農家では、分娩後四〇から五〇日頃の「初回発情」とそれに続く五〇日から六〇日頃の発情を特に注意して確認しています。この時期の発情を確実に発見し

授精することで、初回授精日数が短くなり分娩間隔も一年一産をするための適正範囲になっていきます。（図三）分娩後の確実な発情チェックと早い授精開始が繁殖成績を良くしていることがわかります。

四、記録システム（キチンと記録）
成績の良い農家には、繁殖に関わる情報を記録するシステムがしっかりとあります。（何に）「記録するかが発情を見つけた授精する力ギとなっています。（図四）

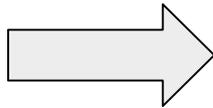
分娩予告警報装置について

[1] 分娩予告警報装置とは

分娩予告警報装置（以下分娩警報装置）は、分娩予定牛の膣内に発信機を挿入しておくこと、分娩直前（破水時）に発信機が先に体外へ排出されます。その時、膣内と体外の温度差をセンサーが感知して、携帯電話に発信する仕組みになっています。



①発信機を膣内に挿入



②破水時に体外へ脱落し、携帯に発信！

[2] 分娩警報装置の特徴

分娩警報装置はモニターシステムのように画面上で牛の状況を見ることはできませんが、破水すれば、周辺でトラクターに乗っていても、夜寝ていても、携帯電話の画面で分娩が近いことを知らせてくれます。特に厳冬期の朝方にかけて出産が予想されるとき、数時間おきの牛舎見回りの苦勞を解消すると同時に、気づかないうちに出産して、仔牛を凍死させてしまったというような分娩事故も予防できます。

[3] 使用事例と動作状況

計根別農協管内では和牛生産振興部会で、この分娩警報装置が使われています。下図にこれまでの動作状況を示しました。

誤作動が23%となっていますが、そのうち10%はスイッチの入れ忘れなどによる使用者側のミスによるものでした。総合的に判断しますと、9割近い確率できちんと「分娩の直前である」という状況を教えてくれる機械ということです。これから迎える厳冬期中の分娩事故などを防ぐと同時に、「いつ産まれるか？」という心理的不安の解消や、「夜中の見回り回数を減らすことが可能になる」というような労働軽減に貢献するものと考えられます。

使用頭数80頭 調査期間：H15年12月～H16年6月

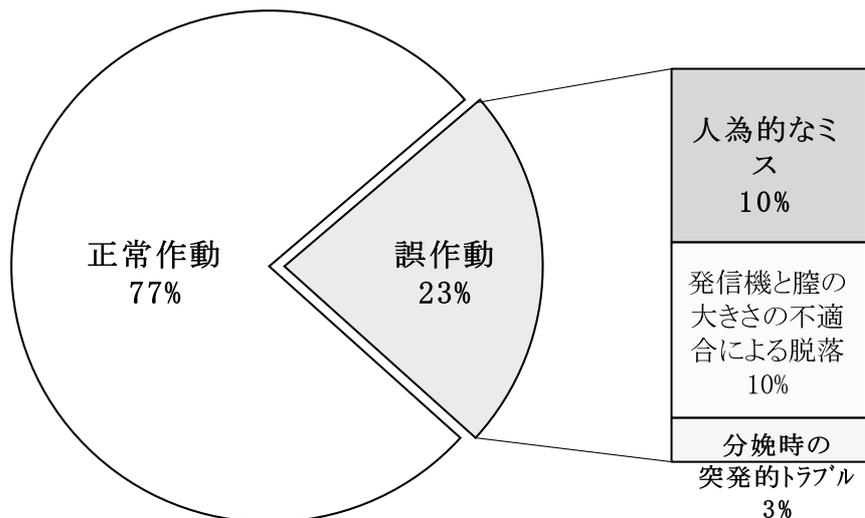


図 分娩警報装置の動作状況（北根室普及センター調査）

詳しくは北根室地区農業改良普及センターまたは計根別農協購買課までお問い合わせ下さい。

剣道大会

今年も行ってきました

十月二十一日に札幌市豊平区にある、道立総合体育センターで北海道警察剣道大会が開催され、昨年に引き続き今年も行ってきました。

結果は、残念ながら二回戦で昨年の準優勝チームの富良野警察署に負けてしまいました。

しかし、負けたとは言え我が選手団は、なかなか熱のこもった良い試合をしましたヨ。

来年も参加することが出来たなら：

今年以上に思い出に残る、良い試合をしてきたいと思っております。



走行中の 携帯電話等の使用 規制強化！

今年の十一月一日から、

自動車

または

原動機付き自転車

を運転中に携帯電話等の使用に
対する規制が強化されました。

違反として検挙されます。

携帯電話等を手で持って、通話したり、メールの送信等のため画像を注視していたら、

普通車の場合

点数 一点

反則金 六千円

になりますヨ。

車を運転する時は

ドライブモードにする。

ハンズフリー装置を使用するなどしてください。

『俺は…、私は…、大丈夫。』

と決して思わないでください。

危険性

一 受信操作時

2秒以上の脇見になる

二 通話中は

反応時間が長くなる

三 通話中は、

交通の流れ

を乱しがちになる

四 通話中は、
前に視線が固定されがち

進路の保持

が難しくなる

等の危険性がありますので、みなさんくれぐれも走行中の携帯電話の使用はやめてくださいネ

架空請求に

気を付ける

身に覚えがないのに届いた請求

書又は請求メール・請求電話を受けたことのある方がいらっ

しやいませんか？

こんな請求は、無視！知らんぷりしてやりましょう。

身に覚えのない請求は支払わない！

ハガキやメールは無視！

電話はきつぱり拒否！
連絡先があっても問い合

わせない！

個人情報絶対に教えない！

『おかしい・不安だな』と思ったら、すぐに警察署か消費者センターで相談してください。

まもなく

冬がやってくる！

段々と秋も深まり、あの寒い冬が日に日に近づいてきているのを感じる、今日この頃です。

昨年と比べ、今年十月の中標準津警察署管内における交通事故の発生状況は、

前年比

発生 一〇件 マイナス一件

死者 〇名 マイナス五件

傷者 一〇名 プラス一名

となっております。

発生も亡くなられた方も減少していますが、これから年末に掛けての天候、道路状況を考えてと安心してはいただけません。

今年の四月以降、計根別駐在所で速度の取締を幾度も実施していますが、思ったほど効果がないように思います。

管内の皆さんは、気を付けて走ってくれているようですが、それでも、まだ、違反として取締を受けている方がいます。

ネ、皆さん運転にもっと責任を持ちましょう。

責任とは、事故を起こさないばかりではなく、決まり・法律を守ると言うことです。

キーのカギカッコ内のアルファベットが、何を略したものを考えて、マスに入れてください。

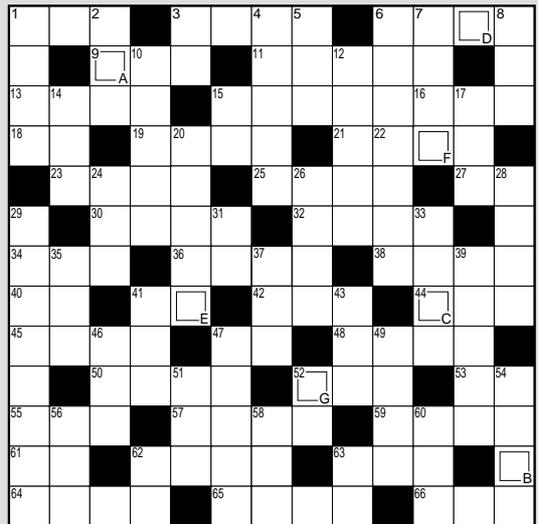
クロスワードパズル

↑タテのキー

- 1 プレーカーにある「A」
- 2 ニワトリの帽子?
- 3 「L」の反対の「R」を日本語でいう
- 4 交渉は表面に現れない所で行われた
- 5 私というものがあながら!
- 6 甲よりもワンランク下
- 7 コンクリートをまぜる機械
- 8 ローマ数字で「X」
- 10 「S」で表される南緯90度
- 12 25日もケーキ屋さん大忙し
- 14 シャンプーの後に
- 15 お金が足りない時に宝飾品等を入れに行く
- 17 電圧の単位「V」
- 20 ここを通って学校に行きます
- 22 お坊さんがぼくぼく叩く
- 24 温泉に来たのを実感する「S」の臭い
- 26 お客さんが乗っていないタクシー
- 28 団体のメンバーです
- 29 ドライブ中によく見かける「P」
- 31 ローマ数字で「I」
- 33 ペンキ のベンチに座ったら服が汚れちゃった
- 35 券で本を買う
- 37 男性は大きいと喜ぶ? 「B」
- 39 ゴルフで向かい風
- 41 教室で礼の前にする
- 43 スーパーで魚は料理しやすい形で売られている
- 46 原子力発電に必要な「U」
- 47 別名テンジクネズミともいう、げっ歯類の一種
- 49 細長く切れ込んでいる目じり
- 51 今は21の「C」
- 52 給料上げろ!と労働組合がやった
- 54 不動産のチラシで見かける「L」
- 56 最近フィルムを使わないデジタルが主流
- 58 自分からは積極的に動かず待っている
- 60 様式ではありません
- 62 ビルなどにある「F」
- 63 エルボー

→ヨコのキー

- 1 TVでナイターを見ていると画面によく出る「O」
- 3 数学では「X」「Y」「Z」で表します
- 6 大吉出るかなと引く
- 9 羽化する前の状態
- 11 この商品にはよくない事情がありそうだ
- 13 口に大きな袋がある鳥
- 15 プレゼントに応募しようと思ったらもう過ぎて残念
- 16 土砂が流れ出るのを防ぐ
- 18 タイヤキのお腹には...
- 19 不動産のチラシで見かける「K」
- 21 服のサイズなどの「S」
- 23 カレンダーの真ん中にある「W」
- 25 眼を覆う膜
- 27 「Q」は 「A」は答え
- 30 アウトドア
- 32 うすい着物
- 34 上を訓、下を音で読むのが 読み
- 36 鳥の口にあります
- 38 集会、会合
- 40 ネズミとトラの間
- 41 千倍を表す「K」
- 42 白焼きともいいます
- 44 口数が多い
- 45 勝負事ではうれしい「V」
- 47 失敗は成功の
- 48 てこで力を加えるところ
- 50 雪をかきわけて進む車
- 52 宝塚歌劇団を象徴する花
- 53 サイフを狙う悪党
- 55 24まである「h」
- 57 姉妹の年下のほう
- 59 自分で回して跳んだり2人で回しているところに何人でも入って跳んだり
- 61 秋にナスを食べたいわ
- 62 忘れないように書いたもの
- 63 地図でおなじみの「E」
- 64 いいことだけ信じます
- 65 今はくじ
- 66 トランプの「K」



● 正解者5名の方にすてきなプレゼントをさしあげます。なお、正解者多数の場合は抽選とさせていただきます。

《応募方法》左下の点線の部分を事務所内（販売機横）の投書箱へ。または、企画課までFAX（8-2556）お願いします。

《締め切り》平成17年1月15日まで
当選者の発表は「けねべつ」2月号誌上

JAのすがた

- 組合員** 3月31日現在
- 正組合員数 209人
 - 正組合員戸数 200戸
 - 酪農家戸数 177戸
 - 准組合員数 212人
- (うち団体5)
- 乳牛頭数** 7月調べ
- 経産牛 11,652頭
 - 未経産牛 7,714頭
 - 合 計 19,366頭

きりとり線

クロスワードパズル

住所 _____

氏名 _____

TEL _____

答え

A	B	C	D	E	F	G
□	□	□	□	□	□	□

きりとり線

クロスワードパズル10月号の答え

クマガダタ

抽選の結果下記の方が当選いたしました。

すてきなプレゼントを差し上げます。企画振興係でお受け取り下さい。
熊谷 昌仙さん 須崎 侑子さん 初岡 久司さん 須崎加代子さん 高橋 礼路さん

あとかき

今年も残すところあと三週間。十二月に入って、寒さも本格的となり、先日の大雪も後押しするなど毎日の仕事も苦痛となる季節ではないでしょうか? さて、十一月二十九日に道東を襲った地震。計根別地域も震度四、五と強烈な揺れが、地域住民の生活を脅かしました。農協事務所内では、大きな被害はなかったのですが、組合員の皆様はどうでしたか? 被害の大きさを問わず、何かありましたら農協までご相談いたします。

また、十二月十日には、農協給油所の洗車場がオープンします。工事期間中は、組合員の皆様方に大変なご迷惑をお掛け致しましたが、より使いやすく、便利になった洗車場是非ご利用願います。

最後に、十二月は忘年会シーズン。何かと出かける機会が増えると思いますが、車の運転と健康管理には充分注意しましょう。



“発表会”

11月20日、中標津総合文化会館にて第42回中標津町小中学校音楽発表会が開催された。

計根別地域からも計根別、若竹、西竹、養老牛それぞれの小中学校が参加。町内小中学校児童が一堂に会して日頃の練習成果を披露した。



編集 / 計根別農業協同組合 総務企画部 企画振興課 企画振興係
発行日 / 平成16年12月10日



平成十六年、申年も残り少なくなりました。十二月五日の強風、吹雪で当地域も雪化粧と共に厳しい寒さが続いております。

この一年は、年初から未曾有の大雪に悩まされ、組合員皆様の被害も甚大なものとなり、生産活動にも大きな支障がありました。

春、夏には昨年とは違って変わり一番草の生育が順調に進み、収穫作業も例年になく早期に終了、量的にも十二分に確保されました。しかし、粗飼料分析結果から質的に蛋白不足が見受けられますので、それぞれが個々の分析を行い、飼養管理には万全を期して下さい。

また、夏には猛暑となり乳牛と共に辛い日々が続きました。さらに雷も発生し、落雷による乳牛の死亡、停電による被害など苦勞も甚大でした。そして、度重なる台風の上

陸、年末には二度に渡る大きな地震と正に変地異の一年となり、後々忘れられない年になりそうです。

日本国内では、台風被害、新潟中越地震の被害を見るにつけ、想像を絶する惨状には目を覆いたくなります。一日も早い復興を祈るばかりです。何か地球規模で変化が起きているように感じているのは皆様も同じではないでしょうか。

残り少ない本年も穏やかな内に暮れて、静かな新年を迎えられますよう心よりご祈念申し上げます。

この一年大変ご苦勞様でした。

平成十六年十二月十日 瀨瀬 成喜